南山大学人類学博物館

年 報

2024 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

人類学博物館にとって、2024年度の大きな変更点と言えば、コロナ禍以降休館日となっていた土曜日が再び開館となったことである。学内で土曜日に開催されている各種イベント等との相乗効果もあり、土曜日の来館者は徐々に増えてきている。

また、4月より開始した蒲郡市の形原遺跡（佃貝塚）の資料整理は、博物館ボランティアや学生アルバイトの手を借りながら、この一年間で一連の整理作業を着々と行ってきた。博物館紀要での報告に向けて、2025年度も引き続き整理作業を進めていく。

7月には、ユニバーサル・ミュージアムの調査・活動の一環として「人類学博物館ワークショップ」の第3弾を開催した。デザイナーの桑田千明氏を講師に招き、「さわる展示を使ってさわる作品を創る」というワークショップを行った。参加者は、事前に選定した館蔵資料を、「さわって」観察し、様々なテクスチャーの素材を用いて感触を作品として再現するというものであった。言語や視覚を介さずに、他の参加者と触覚を共有するという、新たな試みであった。

2024年度は、1700点余りの大規模なコレクションの寄贈を受けた。このコレクションは、桑沢デザイン研究所の専任教員として、デザイン理論などを教えていた故井上耕一氏の収藏品である。井上氏は、ヨーロッパ近代建築に関心の出発点として、さらにはデザインの源流を探しにアジアやアフリカ各地を訪れる過程で、民族衣装や漆器などの資料を収集した。現在資料の整理を進めており、2025年度末には、新収藏品として一部を企画展で紹介し、2026年度以降に博物館紀要で報告をする予定である。

12月には、明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業の一環で、シンポジウム「博物館の行く道」を開催し、博物館と地域の取り組み、学芸員課程のあり方やボランティアマネジメントといった観点から、これからの博物館を考えるという趣旨の講演および討論を行った。2010年より実施してきた本連携事業は、このシンポジウムを集大成として終了することになるが、この連携を通じて得た経験を今後の活動に活かしていきたい。

この他、12月から2月にかけて、文化庁による「令和6年度博物館機能強化推進事業（専門的人材派遣による博物館支援と職員の資質向上に関する調査研究）」に参加協力する機会を得た。本実証事業では、デジタルアーカイブの専門家による、レクチャーが全3回行われた。人類学博物館では、資料台帳の整備が長年の課題であるが、本事業を機に、資料台帳の整備を進めるとともに、デジタルアーカイブでの公開に向けて取り組んでいきたい。

2025年度の4月より、副学長兼人類学博物館長である奥田太郎氏が、博物館運営委員長も兼任することとなった。また、鈴木康二氏が人類学研究所第一種研究所員（人類学博物館担当学芸員）として着任した。このような新たな運営体制のもと、博物館活動の幅がさらに広がることが期待される。

南山大学人類学博物館

目次

1. 2024年度の人類学博物館の活動	
(1) 教育普及活動	
①展示	1
②ユニバーサル・ミュージアム活動	2
③教育機関との連携	2
④博物館連携	4
⑤博物館講座	5
⑥ボランティア活動	5
(2) 調査・研究活動	
蒲郡市形原遺跡（佃貝塚）出土遺物整理作業	6
(3) 資料の収集・整備と利用	
①受贈資料	6
②燻蒸の実施	6
③資料調査	6
④撮影・他機関刊行物等への掲載	8
⑤取材・メディア出演	9
⑥購入図書	10
⑦受贈図書数	10
(4) 出版活動	10
(5) その他	10
2. 組織と運営	
(1) 組織	10
(2) 開館・入館者実績	11
①開館日数・入館者数	11
②入館団体内訳	11
3. 規程	
(1) 南山大学人類学博物館規程	13
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	14
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	16
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	17

1. 2024年度の人類学博物館の活動

(1) 教育普及活動

① 展示

<博物館企画展>

- ・企画展「館蔵品～寿ぐ～」
会 期：3月18日（月）～4月24日（水）
期間中来場者数：816名
- ・企画展「高蔵遺跡と断夫山古墳～おでかけガイドマップより～」
会 期：5月11日（土）～6月15日（土）
期間中来場者数：788名
- ・企画展「瑞穂遺跡～おでかけガイドマップより～」
会 期：10月5日（土）～11月19日（火）
期間中来場者数：1,117名
- ・企画展「フィールドワークの軌跡—人類学者・後藤明コレクションより」
会 期：2025年2月21日（金）～4月12日（土）
期間中来場者数：1,139名

<博物館実習受講生による企画展>

- ・企画展「人類学博物館紀要展」
～根方岩陰遺跡・大須二子山古墳・中国雲南省の民族衣装～
会 期：6月21日（金）～7月17日（水）
期間中来場者数：1,550名
- ・企画展「学芸員のIPPIN展」
～火踊り仮面、中国古来の「明器」、大正・昭和の虫よけ製品～
会 期：8月29日（木）～9月5日（木）
期間中来場者数：207名
- ・企画展「昭和 冬のノスタルジー／ヤオ族の衣文化／仮面の様相／木彫りの動物園」
会 期：11月22日（金）～12月4日（水）
期間中来場者数：322名
- ・企画展「地図を旅する、地図で旅する」
会 期：12月13日（金）～2025年1月8日（水）
期間中来場者数：259名

<WEB展示>

- ・「学芸員のIPPIN展～火踊り仮面／中国古来の「明器」／大正・昭和の虫よけ製品～」
公開：8月29日（木）
- ・「信仰されるワニ／見たい！知りタイ！感じタイ！タイの儀礼／こわ～い展／あのね、実は…」
公開：9月6日（金）
- ・「昭和 冬のノスタルジー／ヤオ族の衣文化／仮面の様相／木彫りの動物園」
公開：11月22日（金）

<ギャラリートーク>

テーマ：「海と空の人類学」

日時：3月22日（土） 14：00～15：30

講師：後藤明（南山大学人類学研究所特任研究員）

共催：南山大学人類学研究所

内容：企画展「フィールドワークの軌跡—人類学者・後藤明コレクションより」開催中に、後藤氏本人による調査時のエピソードや展示の紹介をしていただいた。

参加者：67名

② ユニバーサル・ミュージアム活動

・「第18回 名古屋ライトハウス用具展」参加

内容：資料出展、資料解説

日時：6月2日（日） 10：00～15：30

会場：名古屋国際センタービル

来場者：163名

・人類学博物館ワークショップ

内容：「さわる展示」を使って「さわる作品」を創る

日時：7月13日（土） 13：30～16：30

講師：桑田知明（京都市立芸術大学総合デザイン専攻）

会場：人類学博物館 実習室

参加者：9名

・名盲サマースクール（名古屋盲学校見学会）参加

内容：資料出展、資料解説

日時：8月23日（金） 9：00～15：00

会場：名古屋盲学校

来場者：約70名

・名古屋ライトハウス情報文化センター主催イベント「情文目かくし探検隊」に

「さわるはくぶつかん」として参加

内容：資料出展、資料解説

日時：2025年2月15日（土） 12：30～15：30

会場：名古屋ライトハウス情報文化センター

来場者：約20名

③ 教育機関との連携

◇名城大学附属高等学校との連携授業

2007年度より名城大学附属高等学校と連携授業を実施している。

普通科国際クラスを対象とし、人類学博物館担当教員が授業を行う。

- ・第1回 7月17日(水)
場所：南山大学人類学博物館
内容：博物館見学、講義
- ・第2回 9月25日(水)
場所：名城大学附属高等学校
内容：博物館見学報告
- ・第3回 10月30日(水)
場所：名城大学附属高等学校
内容：ポスター発表

◇南山中学・高等学校男子部でのサテライト展示協力

- ・3月25日(月)～9月2日(月)
石斧、骨角器、縄文土器片、弥生土器片、埴輪、縄文土器深鉢など考古資料
- ・9月2日(月)～2025年5月28日(水)
皇朝十二銭、寛永通宝などの江戸時代の貨幣、中国・朝鮮・日本の絵銭等

◇総合学習等による見学

- ・5月31日(金) 愛知県立春日井西高等学校 42名
- ・10月18日(金) 江南市立北部中学校 11名
- ・11月27日(水) 名古屋市立富士中学校 12名
- ・2025年1月23日(木) 名古屋市立南天白中学校 6名
- ・2025年1月24日(金) 南山中学校男子部 10名
- ・2025年1月28日(火) 名古屋市立萩山中学校 14名
- ・2025年2月18日(火) 三重県立盲学校 20名

◇職場体験受入

名古屋市立宮中学校 2年生 3名
期 間：2025年1月24日(金) 10:00～14:00
実施内容：展示室メンテナンス、資料撮影準備補助、イベント企画立案体験 等

◇名古屋市立駒方中学校への授業協力

7月9日(火)、7月12(金)、9月10日(火)の計3日、1年生全4クラスの社会科の授業にて、触察を通じて縄文土器について学ぶ講義を実施。

◇博物館実習(他大学より受入)

申込大学：愛知学院大学(2名)
期 間：8月27日(火)～9月2日(月) 計5日間 各日10:00～16:30
実施内容：展示作成、資料梱包・開梱、資料整理等
実施場所：人類学博物館展示室

④ 博物館連携

◇明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業

1.シンポジウム「博物館の行く道」

日 時：12月9日（月）13：00～17：30

会 場：南山大学R棟1階会議室

開催方法：対面とオンラインのハイブリッド開催

参加者：対面28名、オンライン85名

内 容：

基調講演 山本哲也（國學院大學文学部 教授）

「博物館のチカラ—これまでとこれから—」

報告1 端山聡子（東京国立近代美術館 教育普及室長）

「ミュージアムにおけるボランティア—主体性を引き出すためのマネージメントとは」

報告2 高橋健太郎（豊田市博物館 副館長）

「博物館は地域のなにをつくることができるか—豊田市の取組から—」

報告3 駒見和夫（明治大学文学部 教授）

「学芸員制度と養成教育の軌み」

討論 司会：外山徹（明治大学博物館 学芸員）

パネリスト：山本哲也・端山聡子・高橋健太郎・駒見和夫

2.在校生向け特別講義

- ・南山大学生向け 5月21日（火）

テーマ：「大学博物館の使命と機能」

講 師：外山 徹（明治大学博物館）

聴講者数：83名

- ・明治大学生向け 11月22日（金）

テーマ：「南山大学人類学博物館の取り組み」

「資料にさわる、ということをめぐる」

講 師：黒澤 浩（南山大学人文学部）

聴講者数：72名

◇名古屋大学・南山大学 連携博物館講座（全4回）

テーマ：「大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー」

方 法：対面と配信（zoomウェビナー）のハイブリッド開催

時 間：各回13：30～15：00 ※第2回のみ15：30～17：00

参加費：無料

- ・第1回 10月5日（土）「ヨルダンの終末期旧石器時代における狩猟技術の研究
：細石器の使用痕分析と動物考古学」

講 師：殷健杰（名古屋大学環境学研究科）、廣瀬允人（名古屋大学博物館）、
門脇誠二（名古屋大学博物館）

会 場：南山大学R49教室

参加者：対面36名 オンライン96名

- ・第2回 10月19日(土)
 - ①「阿寒湖アイヌコタンの木彫りと観光—つくり手の実践と語りから考える—」
講 師：山本高之(南山大学大学院人間文化研究科)
 - ②「南ドイツの旧石器時代遺跡から見る創造的文化の形成」
講 師：村井咲月(南山大学大学院人間文化研究科)
- 会 場：名古屋大学博物館
参加者：対面 30名 オンライン 102名
- ・第3回 11月9日(土)「縄文犬を復元してみよう」
講 師：新美倫子(名古屋大学博物館)
- 会 場：南山大学R49教室
参加者：対面 45名 オンライン 94名
- ・第4回 11月23日(土)「考古学から見た漢代の中国東北部
—古代東アジアでの位置づけを視野に入れて—」
講 師：石川岳彦(南山大学人文学部)
- 会 場：名古屋大学博物館
参加者：対面 33名 オンライン 102名

⑤ 博物館講座

- テーマ：「旅するヒト・移動するモノ—考古学・人類学の視点から—」
時 間：各回 13:30~15:30
参加費：一般 4,000円 学生 2,000円(4回一括)
- ・第1回 5月11日(土)「黒曜石を運ぶヒト—海を渡り川を行く—」
講 師：池谷信之(明治大学黒曜石研究センター特任教授)
 - 参加者：32名
 - ・第2回 5月25日(土)「オーストロネシア語族の拡散と島嶼間ネットワーク
—東南アジア島嶼部・オセアニアの事例から—」
講 師：小野林太郎(国立民族学博物館学術資源研究開発センター教授)
 - 参加者：29名
 - ・第3回 6月8日(土)「オルドスの旧石器とサピエンスの旅」
講 師：上峯篤史(南山大学人文学人類文化学科准教授)
 - 参加者：31名
 - ・第4回 6月22日(土)「古代地中海世界のモノと人のネットワーク」
講 師：竹尾美里(愛知大学・中京大学非常勤講師)
 - 参加者：30名

⑥ ボランティア活動

2014年度よりボランティア規程に則りボランティアを募集し、活動を行っている。

- ・ボランティア登録者数：11名
- ・ボランティア研修(場所：人類学博物館実習室・レファレンスルーム)
 - 5月28日(火) 大須二子山古墳の馬具について
 - 7月30日(火) 評皇券牒と十八神像

- 9月24日(火) 展示解説用地図作成
- 10月22日(火) 展示解説用地図作成
- 11月26日(火) 展示解説用地図作成
- 2025年1月21日(火) 形原遺跡整理作業体験
- 2025年2月25日(火) 井上コレクションについて・整理補助
- 2025年3月25日(火) 一年の活動の振り返り
- ・実地見学等
 - 6月30日(日) 豊田市博物館見学
- ・来館者対応
 - 7月13日(土)、14日(日) オープンキャンパス 来館者対応
 - 他、団体見学予約時など。

(2) 調査・研究活動

◇ 蒲郡市形原遺跡(佃貝塚) 出土遺物整理作業

1951年に南山大学が発掘調査を実施した愛知県蒲郡市に所在した形原遺跡(佃貝塚)から出土した遺物の整理作業を実施。2026年度の報告書刊行に向け、整理を進めている。

(3) 資料の収集・整備と利用

① 受贈資料

- ・井上耕一氏収集資料一括(スライド資料、民族誌資料等) 約1,700点

② 燻蒸の実施

・施設燻蒸G棟

- 5月22日(水) 施工前昆虫トラップ配置
- 6月15日(土) 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置
- 7月9日(火) 施工後昆虫トラップ回収

・施設燻蒸R棟

- 7月9日(火) 施工前昆虫トラップ配置
- 8月5日(月) 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置
- 8月28日(水) 施工後昆虫トラップ回収

・エキヒューム包み込み燻蒸

- 2025年3月6日(木) 施工前テント設営
- 2025年3月7日(金)～10日(月) 燻蒸実施
- 2025年3月13日(木) テント解体

③ 資料調査

来館者名	資料名	実施日
南山大学人文学部 中尾 央氏	入海貝塚出土土偶	5月13日
岐阜縄文土器クラブ 吉田 安考氏 他6名	縄文土器	5月22日

公益財団法人 千葉県教育振興財団 安井 健一氏 伊藤 正人氏 近江 哲氏	花輪台貝塚出土土偶 入海貝塚出土土偶	6月7日
奈良県立橿原考古学研究所 企画学芸部企画課企画係 北井 利幸氏	銅鐸片一式	6月12日
東海大学文明研究所 東海大学文学研究科 白川 美冬氏	高蔵遺跡出土赤彩土器	7月8日、9日
桜美林大学リベラルアーツ学群 中生 勝美氏	ニューギニア関連資料	9月6日
名古屋市美術館 森本 陽香氏	アンデス民族学画像コレクション	9月10日
横浜ユーラシア文化館 高橋 健氏 茅ヶ崎市教育委員会 風間 智弘氏	向油田遺跡出土骨角器、朝日遺跡（富山）出土鹿角、装身具など	9月16日
臺灣天主教輔仁大學 陳 玫奴氏	上智大学東南アジア調査団収集資料	10月8日
名古屋市博物館学芸課 天野 卓哉氏	ラワン材で作られた民俗資料	10月11日
南山大学大学院 安江 太良氏	武芸八幡遺跡出土石器	11月1日
南山大学大学院 林 奨恩氏	高蔵遺跡出土条痕文土器	11月20日
南山大学人文学部 安達 友隆氏	瑞穂遺跡出土 手焙形土器	11月27日
岩村 孝平氏	可児市東山古墳家形石棺	11月27日
名古屋市教育委員会 木村 光一氏	朝鮮半島関係金属製品	11月30日
ミュンヘン大学 呉 佳芸氏	上智大学収集 ヤオ族文献資料	12月11日
南山大学人文学部 松山 璃子氏	車輪石、石釧、鍬形石、ゴボウラ製貝輪、イモガイ製貝輪、銅釧	12月14日

南山大学大学院 尾形 優真氏 安江 太良氏	パプアニューギニア石器資料	12月14日、21日
南山大学大学院 村井 咲月氏	赤土坂遺跡の石核、海老山遺跡の細石核	12月17日、20日
社会福祉法人崇徳会 鈴木 康二氏	二ツ木貝塚、入海貝塚出土縄文土器	2025年2月6日
刈谷市歴史博物館 鵜飼 堅証氏	入海貝塚、保美貝塚、根方岩陰遺跡出土資料	2025年3月26日

④ 撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
株式会社 第一学習社	堀之内式土器 1点	高等学校地理歴史科副教材 「最新日本史図表」 (書籍、およびそのデジタル版)	4月1日
株式会社 敬文舎	茨城県利根町花輪台貝塚出土土偶 1点	安斎正人「縄文を訪ねる (仮)」掲載のため	5月31日
日経サイエンス	ハンドアックス 資料番号 10-37 1点	日経サイエンス 2024年8月号	6月25日
名古屋市教育委員会	大須二子山古墳出土品 1点	名古屋市文化財保存活用地域計画	7月
株式会社 小学館	入海貝塚の出土品 1点	「有名中学合格辞典 2025」 特別付録/入試問題、講義映像 を閲覧できる「読者限定特設 Webサイト」を提供	8月1日
株式会社 同成社	花輪台貝塚出土土偶 1点	春成秀爾氏「始原のヴィーナス」同成社刊	8月末
株式会社 KADOKAWA	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	角川ソフィア文庫 『日本美術史』	9月下旬
株式会社 ユニフォトプレス インターナショナル	二ツ木貝塚出土縄文土器 1点	2025NEW BASIC 歴史 I 東書版(標準版)	10月7日
株式会社 ウェッジ	展示室写真 1点	月刊「ひととき」1月号	12月20日

岩村 孝平 氏	可児市東山古墳家形石棺 1点	Sketchfab	12月23日
国立民族学博物館	友枝啓泰アンデス民族学画像コレクション 1点	国立民族学博物館 創設50周年記念史 資料編	12月頃
森 裕行 氏	花輪台貝塚出土土偶 1点	Web マガジン AMOR—陽だまりの丘	2025年 1月3日
社会福祉法人 名古屋ライトハウス 情報文化センター	NSM-565「人像」 1点	地域交流イベント用チラシ	2025年 1月8日
株式会社 ウェッジ	東ニューギニア学術調査団 コレクションの儀礼用石斧 資料番号 11-411 1点	月刊「ひととき」2月号	2025年 1月20日
株式会社 フォト・オリジナル	二ツ木貝塚出土 縄文土器 1点	「中学必修テキスト 社会歴史 標準版/教育出版版/帝国書院版/ 東京書籍版/日本文教出版版」	2025年 2月1日
南山大学 中尾 央氏	高蔵遺跡出土 遠賀川式土器 1点	中日新聞内の論文紹介記事	2025年 2月15日
株式会社 フォト・オリジナル	二ツ木貝塚出土 縄文土器 1点	中学 WinPass 社会 歴史	2025年 3月1日
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土 深鉢土器 1点	株式会社 学書「さなる式 歴史 I」塾用問題集	2025年 3月4日
南山大学 中尾 央 氏	高蔵遺跡出土 遠賀川式土器 1点	毎日新聞内の論文紹介記事	2025年 3月5日
NHKプロモーション イベント事業センター	花輪台貝塚出土土偶 1点	特別展「古代DNA—日本人のきた道—」図録等	2025年 3月14日
田原市教育委員会	中山英司 野帳 1点 (「伊藤秋男先生 古希記念 考古学論文集」(P498~ P507) 掲載写真を転載)	田原市埋蔵文化財調査報告書第 15集『渥美半島貝塚群Ⅱ研究 総括編』	2025年 3月31日
公益財団法人元興 寺文化財研究所	大須二子山古墳出土品の3D 画像、断面図、実測図、写 真等	初村武寛氏「古墳時代における 札式甲冑の導入・展開とその背 景」六一書房発行予定	2024年度 内

⑤ 取材・メディア出演

依頼元	サイト・番組名	掲載日・放送日
株式会社ウェッジ	月刊「ひととき」2月号	2025年1月20日
株式会社小学館	サライ 2025年4月号	2025年3月7日

⑥ 購入図書

- ・浦野聡著『古代地中海の聖域と社会』
- ・小野林太郎著『モノからみる海域アジアとオセアニア 海辺の暮らしと精神文化』
- ・伊能秀明監修 日外アソシエーツ株式会社編集・発行『新訂 大学博物館辞典』

⑦ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
488	359	207

(4) 出版活動

- ・『南山大学人類学博物館紀要』第43号
- ・『南山大学人類学博物館年報』2023年度（Web掲載）

(5) その他

文化庁による、令和6年度 博物館機能強化推進事業（専門的人材派遣による博物館支援と職員の資質向上に関する調査研究）への協力

期 間：12月から2025年2月

内 容：博物館デジタルアーカイブ構築と収蔵資料台帳の整備に関する専門家のレクチャーに参加

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	奥田 太郎	(社会倫理研究所第一種研究所員／人文学部教授)
担当教員	黒澤 浩	(人文学部教授)
学芸員	高柳 ふみ	(人類学研究所第一種研究所員 (人類学博物館担当学芸員))
	高橋 佳子	(特別嘱託職員)
	井原 瑠梨	(特別嘱託職員)
事務員	神崎 有香	(専任嘱託職員)
	久野 麻美	(臨時職員)

2) 人類学博物館運営委員会

委員長	黒澤 浩	(人文学部教授)
委員	坂下 浩司	(人文学部教授)
	高柳 ふみ	(人類学研究所第一種研究所員 (人類学博物館担当学芸員))
	渡部 森哉	(人文学部教授)
	宮脇 千絵	(人類学研究所第一種研究所員／人文学部准教授)
	上峯 篤史	(人文学部准教授)
	友松 順一	(学事第二課長) (～2024年12月31日)
	大橋 史貴	(学事第二課長) (2025年1月1日～)
事務局	学事第二課	(人類学博物館事務室)

3) 人類学博物館資料評価委員会

委員長 渡部 森哉 (人文学部教授)
 委員 宮脇 千絵 (人類学研究所第一種研究所員／人文学部准教授)
 上峯 篤史 (人文学部准教授)
 事務局 学事第二課 (人類学博物館事務室)

(2) 開館・入館者実績

① 開館日数・入館者数

開館日数	入館者数	団体数	団体人数
238	7,969	64	2,419

② 入館団体内訳

・大学見学

見学日	学校名	人数
4月16日	南山高等学校男子部	100
4月24日	滋賀県立長浜北星高等学校	40
4月29日	愛知県立高蔵寺高等学校	10
5月8日	磐田市立豊田中学校	15
5月17日	私立岐阜済美学院済美高等学校 保護者	40
5月17日	愛知県立知立高等学校	80
5月24日	静岡県立相良高等学校	102
5月31日	愛知県立春日井西高等学校	42
6月10日	岐阜県立加納高等学校 保護者	80
6月14日	私立帝京大学可児高等学校 保護者	20
6月25日	愛知県立東郷高等学校 保護者	30
7月10日	日本福祉大学付属高等学校	80
7月17日	静岡県立浜北西高等学校	80
7月17日	愛知県立大成高等学校	33
9月6日	南山高等学校女子部	60
9月27日	静岡県立島田高等学校	80
10月4日	静岡県立浜名高等学校	80
10月10日	沖縄進学エンカレッジ推進事業事務局	30
10月15日	私立津田学園高等学校	40
10月17日	愛知県立犬山高等学校	40
10月17日	三重県立津東高等学校 保護者	40
10月18日	江南市立北部中学校	11
10月29日	三重県立宇治山田商業高等学校	50
10月31日	愛知県立旭野高等学校 保護者	80

11月1日	岐阜県立関高等学校	40
11月27日	南山高等学校・中学校 保護者	142
11月27日	名古屋市立富士中学校	12
11月28日	中部地区カトリック学校連盟第2回教頭会	20
12月6日	三重県立桑名高等学校 保護者	40
12月12日	私立東邦高等学校	80
12月13日	私立中京高等学校	40
12月13日	名古屋市立神沢中学校	10
2025年1月23日	名古屋市立南天白中学校	6
1月23日	愛知工業大学名電中学校	17
1月24日	南山中学校男子部	10
1月28日	名古屋市立萩山中学校	14
2月18日	三重県立盲学校	20
2月27日	セントヨゼフ女子学園中学校	20
3月5日	愛知県立惟信高等学校	90
3月12日	愛知県立尾北高等学校	42
3月15日	あいち銀行大学見学会	68
3月27日	聖園女学院高等学校中学校 保護者	55

・大学見学以外の団体

見学日	団体名	人数
4月29日	愛知県立芸術大学	15
5月22日	縄文土器クラブ	5
6月18日	清須市はるひ美術館 アートサポーター	19
6月18日	どんぐりの会	11
7月10日	淑徳大学	16
7月19日	名古屋大学博物館	45
8月21日	秀英キッズ(学童保育)	7
8月21日	テラコー社校	47
9月17日	名古屋鯉城学園(高年大学)社会研究クラブ	48
9月25日	名古屋鯉城学園 OB なでしこ会	19
10月29日	みよし市民生児童委員協議会	23
11月5日	名古屋市立大学人文社会学部	25
11月9日	明和高校保護者のつどい	26
11月12日	愛知シルバーカレッジ	23
11月14日	名古屋大学博物館	35
11月22日	名古屋市立大学人文社会学部	14
11月22日	ナカムラツヨシ様	9
11月30日	大ナゴヤツアーズ	12

12月5日	名古屋大学博物館	40
2025年2月21日	ローズ倶楽部	40
3月25日	あいちシルバーカレッジ	23

3. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（研究推進担当・教育支援担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(学芸員)

第4条 博物館に専任学芸員を置く。

② 専任学芸員は、人類学研究所第一種研究所員（人類学博物館担当学芸員）とする。

③ 専任学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示、および調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

④ 専任学芸員は、博物館の活動に差し支えない範囲において、博物館学芸員養成課程、学部の授業等に協力できるものとする。

(担当教員)

第5条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に関して、所属職員を監督し、博物館の任務の達成に努める。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

第6条 博物館の運営に関する重要事項を審議する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第6条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2024年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第6条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を審議することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
- 2 人類学研究所第一種研究所員（人類学博物館担当学芸員）
- 3 博物館学芸員養成課程委員会委員長
- 4 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(博物館資料の収集)

第5条 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、南山大学人類学博物館資料評価委員会にその受け入れの可否を諮問することができる。

(事 務)

第6条 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2024年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第6条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行う博物館資料の収集に関する事項を協議することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名
- 2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、その受け入れの可否を、南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）の諮問に基づき、協議する。

② 委員会は、協議の結果を速やかに運営委員会に報告する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事 務)

第5条 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2024年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館—ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

- ② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報や適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

- ② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2025年6月20日 印刷

2025年6月20日 発行

南山大学人類学博物館年報 2024年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227